

## 平成31年度 事業計画

旧薬事法の改正から5年目となった医薬品医療機器等法は見直しの検討が行われ、昨年12月に厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会による薬機法等制度改正に関するとりまとめ及び医薬分業に関するとりまとめが公表された。このとりまとめには、薬剤師は、医薬品の服用期間を通じた服薬状況の把握や指導を行い、必要に応じて医師等に情報提供をするよう努め、薬物療法の最適化に寄与することに職能を発揮すべきであること、薬局については、基本的機能を果たすとともに、在宅医療への対応や関係機関等との情報連携に主体的な役割を担う薬局と高い専門性に基づく薬学的管理や特殊な調剤に対応できる薬局を明確にして、その機能を患者・住民が容易に判断できる表示等についての議論が盛り込まれている。

2015年10月に公表された「患者のための薬局ビジョン」の実現に向け、本会ではこれまで、新潟県を通じて厚生労働省の推進事業を積極的に受託し、おくすりバッグを活用した在宅サービス支援事業への取り組みや多職種連携による服薬サポート事業、ポリファーマシーに着目した薬薬連携等のモデル事業等を展開し、かかりつけ薬剤師・薬局機能の強化を図ってきた。本年度は、厚生労働省の「薬局機能強化・連携体制強化事業」へ応募し、一層の薬局機能及び連携体制の強化を図る。

2016年10月に開始された健康サポート薬局の届出は、新潟県では、昨年末に比べて13件増えて2018年12月末現在で29薬局となり、全国では、515件増えて1,220薬局となった。今後も、「健康サポート薬局」の推進のための研修の機会を引き続き提供して、着実な普及促進を図るとともに、「にいがた健康支援薬局」への参加も広く会員に促す活動を継続していく。

在宅医療の推進に向け、地域医療介護総合確保基金を活用し、薬剤師の人材育成事業として、フィジカルアセスメントに関する研修等に加え、環境整備事業として、共同利用可能な無菌調剤室の設置とそれに伴う無菌調剤に係る研修等を継続する他、多職種との連携強化による薬剤適正使用の推進に取り組む。また、薬剤師のための認知症対応力向上研修会も継続して開催する。

薬学教育における薬学生実務実習は、今年度から新モデル・コアカリキュラムのもとで開始される。認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ及び講習会等を開催して、実務実習生受入薬局への支援を強化していく。

人を対象とする医学・薬学系研究の実施と発表にあたっては、倫理的な配慮がなされているかが重要となっており、日薬学術大会においても学術研究倫理審査の承認を受けたことが発表の要件となった。北陸信越薬剤師学術大会においても、今後これらの要件が検討される。学術研究倫理に関する審査と研修会等の開催により、会員の学術研究を支援していく。

昨年の薬機法違反事例は、薬剤師に対する県民の期待と信頼が大きく揺らぎかねない事態となった。薬局に関わるすべての薬剤師が倫理観と専門職としての矜持を持ち、社会から信頼される医療人として業務に取り組み、薬剤師がより一層の社会的認知と評価を得られるよう努力が求められる。

薬局・薬剤師に向けられる厳しい評価がある一方、薬局・薬剤師が地域で活躍することへの期待が益々大きくなっている。服薬期間中のフォローなど調剤業務の進化への対応、多職種連携の強化、在宅医療への対応、地域包括ケアシステムへの参画、健康サポート薬局の推進等、薬局・薬剤師が直面している課題を乗り越えるため、行政や医師会等の関係団体並びに日本薬剤師会・地域薬剤師会等との一層の連携を図りながら、以下に掲げる事業に取り組む。

## 1 災害等対策の推進

### (1) 災害対策に係る整備及び啓発(継続)

- ① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療の制度等について、新潟大学医学部災害医療教育センター等との共催により、研修会を開催して会員へ情報提供を行う。
- ② 県薬と地域薬剤師会が連携して活動できるよう、防災対策及び災害時の対応等について情報交換、情報収集する。
- ③ 「災害対策マニュアル」に則り、災害発生時の情報伝達体制の確立と発生時の初期対応の確認等を目的とした訓練を実施する。
- ④ 災害発生時に県薬会館において災害対策本部を設置できるよう、必要となる備品等を整備する。

### (2) 行政等との連携協力体制の整備(継続)

- ① 新潟県災害医療連絡協議会への参画、地域の防災会議への支援等により、行政との連携体制の推進を図る。
- ② 新潟県等が行う防災訓練に参加する。
- ③ 新潟県が行う安定ヨウ素剤の配布計画検討会等に参加し、地域薬剤師会と連携して協力する。
- ④ 新型インフルエンザ等感染症対策について、行政、三師会及び日本薬剤師会と連携を図り、会員への情報提供に努める他、訓練に参加する。
- ⑤ 新潟県等が開催する災害関連の研修会等に参加し、情報収集を行う。

### (3) 災害時の救援活動等への協力・対応(継続)

- ① 災害時等におけるチーム医療への薬剤師の積極的な参加を強化するため、医師会等との連携を図る。
- ② 災害時等における医薬品等の確保・供給のあり方について検討する。

## 2 組織強化対策

### (1) 会員増強対策の推進(継続)

組織強化の基盤である会員の増加策として、会員証の発行、「勤務者(B)会員」及び「賛助会員」の加入促進を図る。

### (2) 若手リーダー養成事業の実施(継続)

- ① 若手薬剤師の指導者養成を目的とした「薬剤師フォーラム」を開催する。
- ② 「薬剤師フォーラム」参加者の県薬事業への積極的な参加を促す。

### (3) 青年部の活動の活性化(継続)

- ① 青年部員の交流等を目的として定例集会を開催する。
- ② 若手薬剤師の資質向上を図るための研修会を開催する。
- ③ 薬物乱用防止の啓発と地域薬剤師会との連携の強化を図るため、地域薬剤師会の地域活動等に積極的に協力する。

- ④ 地域医療、社会福祉事業等に参画し、交流イベント等により、部員、会員の親睦を図る。
- ⑤ Facebook、県薬ホームページ等を活用し、青年部活動の広報に努める。
- ⑥ 青年部名簿を作成し、部員に送付等するとともに、新入部員をメルマガ等で随時紹介して、部員同士の繋がりを強化する。

(4) 地域薬剤師会事務局の支援(継続)

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて、地域活動の充実・強化に努める。

(5) 部会活動への支援(継続)

- ① 各部会活動のあり方と支援について協議するとともに、連携強化に努める。
- ② 各部会活動の支援策を講じて、部会活動の充実・強化に努める。

### 3 未就業薬剤師の就業促進

(1) 薬剤師無料職業紹介所(継続)

ホームページ等を通じて「薬剤師バンク」の広報と薬剤師の就労促進・斡旋を行う。

### 4 試験検査の実施

(1) 委託検査等の実施(継続)

薬局等からの委託による医薬品の計画的試験検査を実施する。また、日薬が行う医薬品試験等の事業に協力する。

(2) 依頼検査等の実施(継続)

薬局等からの医薬品検査等の依頼に応じて検査を実施する。

(3) 研修会等への参加(継続)

試験検査の技能向上のため日薬試験検査センター連絡協議会、日薬試験検査センター技術講習会及び精度管理試験や厚生労働省が実施する外部精度管理試験などに積極的に参加する。

(4) 試薬の販売(継続)

学校給食衛生管理定期検査等の試薬を調製し、薬局、学校等へ販売する。

### 5 医療保険制度への対応

(1) 保険薬局研修会の開催(継続)

保険薬局の質的向上を目指し、研修会を開催する。

(2) 集団指導、個別指導への立会い(継続)

関東信越厚生局及び新潟県の保険薬局指導に立会い、当該指導の円滑な実施と適正な保険請求事務の推進に努める。

- (3) 「保険薬局だより」の作成(継続)  
保険調剤に関する情報等について、会誌「ジャーニファ」等に掲載するなどし、周知を図る。
- (4) 10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会への参加(継続)  
「関東信越厚生局管内10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会」へ参加し、関東信越厚生局の各都県事務所による指導計画等の情報交換を行う。
- (5) 2020年度調剤報酬改定への対応(継続)  
① 日薬主催の2020年度調剤報酬改定等説明会に参加する。  
② 2020年度調剤報酬改定について会員への周知を図るため、説明会を開催する。
- (6) 新潟県保険者番号等一覧表の印刷・配布(継続)  
毎年更新される「新潟県保険者番号等一覧」を印刷し、会員の保険薬局へ会誌とともに配布する。

## 6 医薬分業に係る質的向上対策

- (1) 医薬分業及び「かかりつけ薬局」の定着促進(拡充)  
① 患者本位の医薬分業の実現のために「かかりつけ薬局」の周知に努め、「薬と健康の週間」において会員等への広報啓発を行う。  
② 薬局が患者の服薬期間中のフォローなどを積極的に行うよう「なじらね訪問」を推進し、薬局のかかりつけ機能の強化・充実を図る。  
③ 厚生労働省の「薬局機能強化・連携体制構築事業」に応募し、より一層のかかりつけ薬剤師・薬局の推進、地域における薬局の機能強化及び連携体制の構築を図る。  
④ かかりつけ薬局機能を強化、推進するため、「にいがた健康支援薬局」を推進する。  
⑤ 「健康サポート薬局」の整備に向け、日薬と連携した研修会を開催する。
- (2) 処方箋応需薬局名簿の作成(継続)  
新潟市薬剤師会が行う「処方箋応需薬局名簿の作成」に対し助成する。
- (3) 休日等の医薬品供給体制整備(継続)  
輪番制による休日保険薬局当番をホームページ上で公開し、休日における地域住民に対する医薬品の調剤・供給体制を確保する。
- (4) 厚生労働省の医薬分業に係る会議への参加(継続)  
厚生労働省が主催する「かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会」等に役員等を派遣する。
- (5) 医療ICT化への対応(継続)  
日薬が行う薬剤師資格証の発行事業において、地域薬剤師会と連携して申請の受付業務に協力する。

## 7 リスクマネジメント対策

### (1) 薬局における医療安全管理体制の整備(継続)

- ① 安全管理責任者の任務と調剤過誤防止をテーマに研修会を新潟県病院薬剤師会と共催して開催する。
- ② 「薬局プレアボイド」に関する研修会を実施し、会員の取り組みを支援する。

### (2) 高度管理医療機器販売等に係る継続研修会の開催(継続)

日薬の主催する継続研修に共催し、医療機器販売等の営業所管理者を対象として2会場(新潟・長岡)で継続研修会を開催する。

### (3) DEM事業の広報(継続)

会員の勤務する保険薬局に対し、日薬DEM事業への参加を啓発する。

## 8 在宅医療・介護対策

### (1) 在宅医療に関する薬剤師のスキルアップの支援(継続)

- ① 在宅医療における薬剤師のスキルアップを図るために、新潟県と連携して医療介護総合確保基金を活用し、地域薬剤師会の協力を得て、フィジカルアセスメント、服薬支援策・副作用モニタリング、在宅患者アセスメント、無菌調剤等にかかる研修会を開催する。
- ② 薬剤師のための認知症対応力向上研修会を新潟県と連携して開催する。
- ③ 地域薬剤師会における在宅医療の推進を支援するため、地域薬剤師会担当者会議を開催する。
- ④ 在宅医療における薬剤師の活動事例や医師等からの学術的寄稿を会誌「ジャーニファ」に掲載し、薬剤師の資質向上を図る。

### (2) 医療・福祉等との連携促進(拡充)

- ① 新潟県と連携し地域医療介護総合確保基金を活用して、地域薬剤師会における在宅医療に係る多職種との連携を促進させるため、介護サービス事業者等を対象とした「おくすり相談会」や在宅医療推進に向けた連携会議等を開催するとともに、薬局における注射薬の調製に関する啓発のための小冊子を作成する。
- ② 在宅医療に関する大会等に行き実行委員を派遣し、大会に参画する。
- ③ 自立支援のための介護予防に関する地域ケア個別会議へ助言者等を派遣する。また、助言者となる専門職6職種間での調整を行う。

## 9 医薬品販売制度への対応

### (1) セルフメディケーション推進のための一般用医薬品等の活用等に関する啓発活動(継続)

- ① 日薬「薬剤師の臨床判断と一般用医薬品適正使用研修会」の資料を活用してWS形式の研修会を開催する。研修会DVDの貸し出しを行う。
- ② セルフメディケーションに関するリーフレット等を薬剤師会の研修会で活用するとともに、消費者に配布して一般用医薬品の活用について啓発活動を行う。
- ③ 会員への情報提供に努め、薬局等の対応について支援する。

## (2) 医薬品販売制度への対応(継続)

- ① 医薬品販売制度に関する関連資料や薬局・店舗の自主点検など、法令遵守のための会員への情報提供に努める。
- ② 登録販売者の勤務する薬局の開設者に義務付けられている登録販売者の研修会を新潟県医薬品登録販売者協会と共催し開催する。
- ③ 登録販売者の通信研修として日本薬剤師研修センターのe-ラーニングについて会員に周知・サポートする。
- ④ 薬局・店舗販売業での内部研修の資料として、DVDの貸し出しを行う。

## 10 薬局製剤の推進

### (1) 薬局製剤の推進(拡充)

- ① 薬用植物観察会の開催により、県内に自生する薬用植物を探索し、生薬に関する知識・技能の向上を図る。
- ② 薬局製剤等について会員へ随時情報提供を行う。

## 11 薬剤師養成のための薬学教育への対応

### (1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上(継続)

- ① 認定実務実習指導薬剤師資格更新への対応等も含めた実務実習生受入薬局への支援を強化し、受入体制の整備を図る。
- ② 充実した実務実習を実現するため、薬局実務実習地域薬剤師会担当者会議を開催して対策を検討する。
- ③ 認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ及び講習会を開催する。

### (2) 関東地区調整機構・日薬会議への参加(継続)

薬学生実務実習の環境整備やワークショップの円滑な実施等を協議する関東地区調整機構の会議や日薬の全国会議・関東地区ブロック会議に参加する。

## 12 地域保健対策の推進

### (1) 「消費者のための薬のセミナー」の開催(継続)

- ① 地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため、新潟県からの事業委託による「消費者のための薬のセミナー」を開催する。
- ② 「知っておきたい身近な薬草」を増刷し、「おくすりセミナーBOOK」とともに薬のセミナー参加者に配布する。

### (2) 薬物乱用防止事業の推進(継続)

薬物乱用の未然防止を図るため、県民を対象に薬物乱用防止の啓発事業を実施する。

### (3) 薬事衛生指導員研修会の開催(継続)

新任等薬事衛生指導員の養成及び薬事衛生指導員のスキルアップを図るための研修会を開催するとともに、新たに指導員の発掘を図る。

(4) 「薬と健康展」等、薬事啓発事業の実施(継続)

- ① 地域薬剤師会等と連携し、新潟県薬事団体連絡協議会と「薬と健康展」を共催する。
- ② 健康増進関連団体等が主催する行事等に地域薬剤師会の協力を得て参加する。
- ③ ジェネリック医薬品の使用を促進するため、県民へ広報するなどして、正しい知識の普及啓発を図る。
- ④ お薬手帳の活用等について県民への理解を深めるために、啓発資材を増刷し、広報・啓発する。
- ⑤ にいがた健康支援薬局を県民へ広報するため、チラシを増刷する。
- ⑥ 日薬などが作成した小冊子等薬事啓発資材を購入し、他団体主催の行事等で配布するなどして啓発する。

(5) 自殺予防活動の推進(継続)

- ① 自殺予防に対する薬剤師の意識向上を図り、自殺対策に関わる薬剤師の人材を育成するため、地域薬剤師会が主催する研修会(WS)に、当会より講師を派遣する。
- ② 薬剤師を対象とした集合研修会を新潟市で開催する。
- ③ 地域における自殺予防対策を推進するために他団体との連携を図る。

(6) 禁煙対策の推進(継続)

県民への理解を深めるために、啓発資材を配布するなどして広報・啓発する。

### 13 ドーピング防止対策の推進

(1) ドーピング防止のための研修会の開催(新規)

ドーピング防止対策に関わる薬剤師の資質向上のため、日本アンチ・ドーピング機構主催のスポーツファーマシストのための情報提供研修会(Live On Seminar)を開催する。

(2) ドーピング防止に関する啓発・広報活動の推進(継続)

- ① 適正なドーピング防止活動を行うために、ドーピング防止ガイドブック2019を会員薬局及び会員所属の医療機関に配布する。
- ② 会員へのドーピング防止に関する情報を会誌「ジャニファ」等で広報する。

(3) ドーピング防止のための研修会への参加(継続)

会員及びスポーツファーマシストのドーピング防止活動を支援するために、日薬や日本アンチ・ドーピング機構が実施する研修会に参加する。

(4) 他団体との協力(継続)

三師会や新潟県体育協会等と連携を図り、ドーピング防止活動を推進する。

### 14 電話相談事業の推進

(1) 電話相談の対応(継続)

新潟県からの補助事業として、フリーダイヤルの活用による一般県民からの薬に関する電話相談に応ずる。

## 15 学術研修・生涯教育の充実

### (1) 新潟薬学会の開催(拡充)

会員の研究発表を支援するため、新潟県病院薬剤師会及び新潟薬科大学と共催で新潟薬学会を開催する

### (2) 学術研修会の共催・後援(継続)

新潟薬科大学「薬剤師生涯教育講座」、新潟県女性薬剤師会研修会等を共催し、広報活動を行う。また後援する研修会等の広報を行う。

### (3) 薬剤師生涯学習関連事業の推進(継続)

- ① 日薬の生涯学習支援システムの広報啓発に努める。
- ② 効果的な薬剤師の生涯学習を推進するために、地域薬剤師会と連携して、会員の生涯学習の環境整備を図る。

### (4) 北陸信越薬剤師大会支援(継続)

北陸信越薬剤師大会等への会員の参加支援及び情報提供を行う。

## 16 広報・情報活動の推進

### (1) 会誌「ジャニファ」の定期刊行(継続)

会誌「ジャニファ」を年4回発行し、学術的研鑽・会員の交流の場等になるよう寄稿を積極的に働きかけ、掲載内容の充実に努める等、当会の活動の広報を強化する。

### (2) 日薬データベースへの参加(継続)

日薬データベース「Bunsaku」共同入力事業に参加する。

### (3) 図書及び情報の整備(継続)

薬事情報センター機能の充実に努めるために、図書及び情報等の整備に努める。

### (4) 薬事情報に関する研修会への参加(継続)

日薬生涯学習担当者全国会議及び日薬情報センター実務担当者会議等に役員等を派遣する。

### (5) ホームページの管理(継続)

新潟県薬剤師会に関する情報発信のためにホームページの管理及び内容の充実に努める。

## 17 学術研究倫理審査

### (1) 学術研究倫理審査委員会の開催(継続)

人を対象とする医学・薬学系研究を倫理的及び科学的観点から審査するために学術研究倫理審査委員会を開催する。



(2) 研究倫理に関する研修会の開催(継続)  
研究倫理に関する研究者向けの研修会を開催する。

(3) 研究倫理に関する研修会・講習会への参加(継続)  
日薬が主催する研究倫理に関する全国担当者会議等に参加する。

## 18 三師会等関係団体との連携

(1) 三師会との連携(継続)

- ① 新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会連絡協議会に参画して、三師会との連携を強化する。
- ② 新潟県三師会連絡協議会の目的・事業である県民の医療、保健、福祉に関する事項を達成するため、三師会による県民のための健康セミナー実行委員会へ参画するとともに、三師会が主催する一般県民向けの健康セミナーを開催する。
- ③ 三師会社会保険担当理事連絡協議会に参画し、各師会における指導状況等について情報交換を行う。
- ④ 適正な保険請求事務の推進に貢献するため、三師会・国保連合会・支払基金保険事務懇談会に参加する。

(2) 新潟県民医療推進協議会との連携(継続)

- ① 新潟県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、新潟県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化をめざして、三師会等関係団体で構成する新潟県民医療推進協議会に参画して連携を強化する。
- ② 同協議会に設置されている在宅ケアにおける多職種協働推進委員会、大災害に対する多職種協働推進委員会及び健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会等に参画して構成団体と連携を図る。
- ③ 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会へ参画するとともに、新潟県民医療推進協議会が主催する一般県民・多職種等を対象とした「健康寿命延伸フォーラム」へブース出展する。

(3) 新潟県薬事団体連絡協議会との連携(継続)

- ① 構成団体相互協力のもとに、業界の発展、公衆衛生の向上及び県民の健康維持増進に寄与することを目的とする新潟県薬事団体連絡協議会に参画して連携を強化する。
- ② 新潟県薬事団体連絡協議会の事務局を担当して総会を開催し、薬と健康展等の事業の運営に係る事務を担う。

(4) その他の関係団体との連携(継続)

- ① 公益財団法人新潟県健康づくり財団に参画する。
- ② 新潟県糖尿病対策推進会議に参画する。
- ③ 新潟県歯科保健協会に参画する。
- ④ 新潟県小児保健研究会に参画する。
- ⑤ 新潟母性衛生学会に参画する。

- ⑥ 新潟栄養・食生活学会に参画する。
- ⑦ NPO法人新潟難病支援ネットワークに参画する。
- ⑧ 新潟県学校保健研究大会に出席する。
- ⑨ 独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議に出席する。
- ⑩ 公益財団法人新潟県臓器移植推進団体に参画する。
- ⑪ 新潟県交通安全対策連絡協議会に参画する。
- ⑫ 新潟県介護支援専門員協会に参画する。
- ⑬ その他関係団体との連携を強化する。

## 19 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

### (1) 北陸信越ブロック連絡協議会との連携(継続)

北陸信越ブロック連絡協議会に出席して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り、情報交換に努める。

### (2) 日薬(北陸信越)ブロック会議への参加(継続)

日薬(北陸信越)ブロック会議に出席し、日薬事業の確認と日薬及びブロック内の情報・意見交換を行う。

## 20 薬剤師学術大会等への対応

### (1) 日本薬剤師学術大会への参加(継続)

会員の資質向上に寄与するために、日本薬剤師学術大会に役員等を派遣し、会誌「ジャーナル」等で報告する。

### (2) 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会への参加(継続)

- ① 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会への会員の参加支援を行う。
- ② 会員の資質向上に寄与するため、北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会に役員等を派遣し、会誌「ジャーナル」等で報告する。